



西学園だより 9月

雲南市立認定こども園西こども園

雲南市立西小学校

【文責 表面 佐貴 裏面 稲田】

2学期がスタート！！

44日間の夏休みが終わり、子どもたちの元気な声と笑顔が西小学校に帰ってきました。廊下に並んだ夏休みの作品を見ると、夏休みという特別な時間を使い、工作・絵画、自由研究、作文など関心のある内容にじっくりと取り組んだ様子が伝わってきました。取組を始める前にあれこれと考えたり、作業をやり直したり、方向転換したりする時間があることから、夏休みの取組は子どもたちの思考力・表現力を伸ばす貴重な時間だと改めて感じました。その他にも、ラジオ体操の実施日数が全校平均20.5日でした。学習や生活リズムなど、ご家庭での声かけがあってこそその成果だと思っています。ありがとうございました。

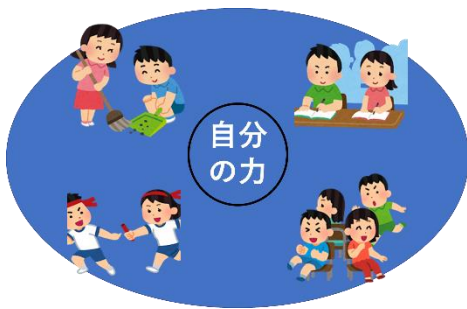
また、8月25日（日）には、暑い中、たくさんの保護者の皆様、地域の皆様におかけいただき、PTA 奉仕作業を行っていただきました。当日までにも、奉仕作業が楽になるようにと草刈りを行っていただいていたいました。おかげさまで校舎内外がきれいに整い、気持ちよく始業式を迎えることができました。本当にありがとうございました。



みんなの力は無限大「まずはチャレンジ！」

始業式では、多くの子どもたちも見ていたようですが、大社高校野球部の活躍について話しました。甲子園でベスト8という結果だけでなく、選手の最後まであきらめない気持ちやみんなで補い合う団結力、そして、選手を支えた応援の力、対戦チームへの態度などから、たくさんの感動をもらいました。試合ごとに想像以上の力を発揮して戦う選手の姿を見て、石飛監督が「生徒の力は無限大」と話しておられました。子どもたちの力はこのくらいと決めつけられるものではないという思いに共感しました。

子どもたちにも、自分の力はこのくらいと決めつけることはなく、学習の力も、運動の力も、友達と仲よくする力も、みんなのために働く力も、まだまだ大きくすることができること、そのためには、はすかしさ・めんどくささ・失敗するかもといった気持ちに負けずに「チャレンジすること」が大切だということをお話しました。子どもたちは、9月21日の運動会に向けて動き出していますが、どんなチャレンジからどんな力を伸ばしていってくれるのか、楽しみに見ていきたいと思ひます。



「熊の学習会」

1学期は熊の目撃が続きました。2学期は果樹が実る季節となり熊の出没がさらに心配されます。そこで、島根県東部農林水産振興センター雲南事務所の明生さんと杉原さんに「熊の学習会」を行っていただきました。

学習会では、熊は臆病な動物で自分から襲ってくるようなことはないといった熊の生態や、熊への対処方法として「熊と出会わないように音を出さず（熊鈴・声）こと」「出会ったときは慌てて騒がず、静かに後ずさりをして少しずつ逃げること」などを教えていただきました。また、果樹を取るができないように木の幹にトタン板を巻いたり、落ちた実を片付けたりする工夫も大切だということでした。安全に共存していきましょうというメッセージも受け取りました。

